「部科学省等支援プログラム

地域の特性を活かした循環型社会構築の高度化

「伊賀地域における 三重大学伊賀研究拠点の 新展開

伊賀市に設置した研究拠点を中心に、伊賀市ならびに三重県と地域企業等と三重大学の産 学官民による地域連携をもって、「環境・食・文化」に関する調査・研究、新商品開発研究等を軸 とした新産業育成を図るとともに、伊賀バイオマスタウン構想を通して地域活性化と環境保全を 実現します。

また、大学の研究領域の戦略的な活動により、伊賀の産業や豊かな環境・歴史・文化を育む 文化的啓発活動を通した地域活性化、地域企業との連携による大学の研究領域拡大及び大 学発信による高度人材輩出(学生の就職機会拡大)を実現する「伊賀地域循環型社会モデル (伊賀モデル) |を構築します。

◎ 地域の特性を活かした循環型社会「伊賀モデル」の構築 ◎

三重県

伊賀市

上野商工会議所

伊賀地区企業

伊賀森林組合

伊賀市文化都市協会

バイオマスタウン構想

- ●カーボンオフセットの算定
- ●なたね油による地域交流
- 耐腐食性伊賀焼壺で廃油を回収
- ■環境に優しいバイオ燃料 (BDF) の研究

産業廃棄物の処理の高度化

- ●有害系→無害化
- 食品残渣→コンポスト化.
- ●ゼロエミッション化
- ●悪臭対策

伊賀研究拠点

バイオマテリアルの開発

- ●医薬・化粧品・食品等の 新素材の開発
- ■環境健康学研究会・ 健康科学食品研究会の開催

森林・里山・文化再生

- ●マツタケ十字軍→里山再生
- 獣害·竹害対策→低減
- ●木質ペレット開発
- 忍者の知恵の活用

地域活性化•地域創生

平成23~27年度

イノベーションシステム整 備事業 地域イノベーション戦略支 援プログラム

三重エネルギーイノベーション 創出地域|

曲がるというフレキシブルな新規機能性を有す る「全個体ポリマーリチウム二次電池 | の実用化・ 事業化を加速し、この電池をコンセプトとした新産業の創出を目的とするものです。

新たな産業構造の確立を目指します。

これまでの研究開発で生み出された、発火・ 爆発等の恐れがない高い安全性、薄い・軽い・

「三重県次世代電池イノベーション推進協 議会」を設置し、これまでに構築してきた電池 開発に関する産学官連携体制をさらに強化す ることで、県内外を含めた次世代雷池関連の

○ 産学官連携を強化し「次世代電池|関連の新たな産業構造の確立を推進 (

三重県次世代電池イノベ ーション推進協議会

電池の材料部材・製造設備・ユーザー 等の技術&事業ネットワーク

三重県外 関連企業 関連企業

金融機関

商工会議所 連合会

二重唱 中小企業団体 中央会

●地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積



三重大学 センター

次世代型電池開発●研究体制の充実

研究者を招へいして、研究体制の充実を図る (国内大手電池製造企業の技術開発経験者、若手研究者)

●大学等の知のネットワークの構築



三重県

- 研究・技術シーズと 企業をマッチング
- 産業支援センター ●製品試作·実証実験
 - 製造技術・プロセスの技術移転

技術連携コーディネーター、実用化促進コーディネーター 技術移転コーディネーターを配置

高度な専門職業人の育成や専門教育機能の充実

平成25~27年度

「大災害時の救命力向上のために 救急医療臨床医学者を育成する 医師卒後教育拠点『災害救急医療 ・高度教育研究センター』の構築

三重県の緊急課題である大災害時における救急医療体制の整備の柱として、三重大学内に 「災害救急医療・高度教育研究センター」を構築し、専門的なトレーニングを行い臨床医学者とし て災害救急医療を指揮・総括・改善できる医師の育成を目的としています。

救急災害医学(今井 寛教授)と分子病態学(鳥岡 要教授)が中心となり三重大学医学部内 に横断的な組織「災害救急医療・高度教育研究センター」を設置し、多臓器不全の病態解明の ための基礎研究スキルを身に付ける医師卒後教育・トレーニングを提供します。

センターは臨床・基礎の2つのコア・ラボラトリー及びハーバード大学医学部との国際連携プロ グラム、危機管理対策や災害時の住民個人認証に関する社会連携プログラムの合計4つのトレ ーニングユニットで構成されます。

救急集中治療の初期トレーニングを終えた医師が3年の期間中、コアラボと連携プログラムを ローテーションし、「大災害時に救急医療チームを指揮できる臨床医学者」に必要な知識・スキル・ 人的ネットワーク・コミュニケーション能力を身に付けます。

3年後のプロジェクト終了時には、第1期牛を輩出できます。

◎ 災害・救急医学を専門とする優れた臨床医学者を育成 ◎

災害救急医療・高度教育研究センター

三重大学大学院医学系研究科·医学部

コア・ラボラトリー

基礎研究トレーニングコアラボ 細胞障害・多臓器不全の患者の 病態の解明と治療法開発

臨床トレーニングコアラボ

細胞障害・多臓器不全の患者の 救助と初期治療の訓練

国際連携「分子免疫学」 プログラム

ハーバード大学医学部との連携

社会連携「危機管理個人認証」 プログラム

地域住民危機管理DNA個人認証

きょう救える患者は、確実にきょう救う。

きょう救えない患者は、あすには救えるように新しい治療法を救急医が研究する。